

Cloud9 とは

- クラウド IDE (統合開発環境) で、有料サービスとしては Amazon AWS が提供しています.
- Cloud9 のコアはオープンソースであり、ローカル環境で利用できます.
- 講義では Cloud9 を使ってプログラミング等を行います
(自分で環境構築できる人は Cloud9 を使わなくても良いです)

利用方法

- 情報工学専攻の端末（地下にある端末）を利用します.
- 下記のアドレスにアクセスします.

```
http://huispc01.huis.hiroshima-u.ac.jp/b1234567/
```

b1234567 は自分の学生番号 B1234567 の先頭 B を小文字のbに置き換えた文字列です.

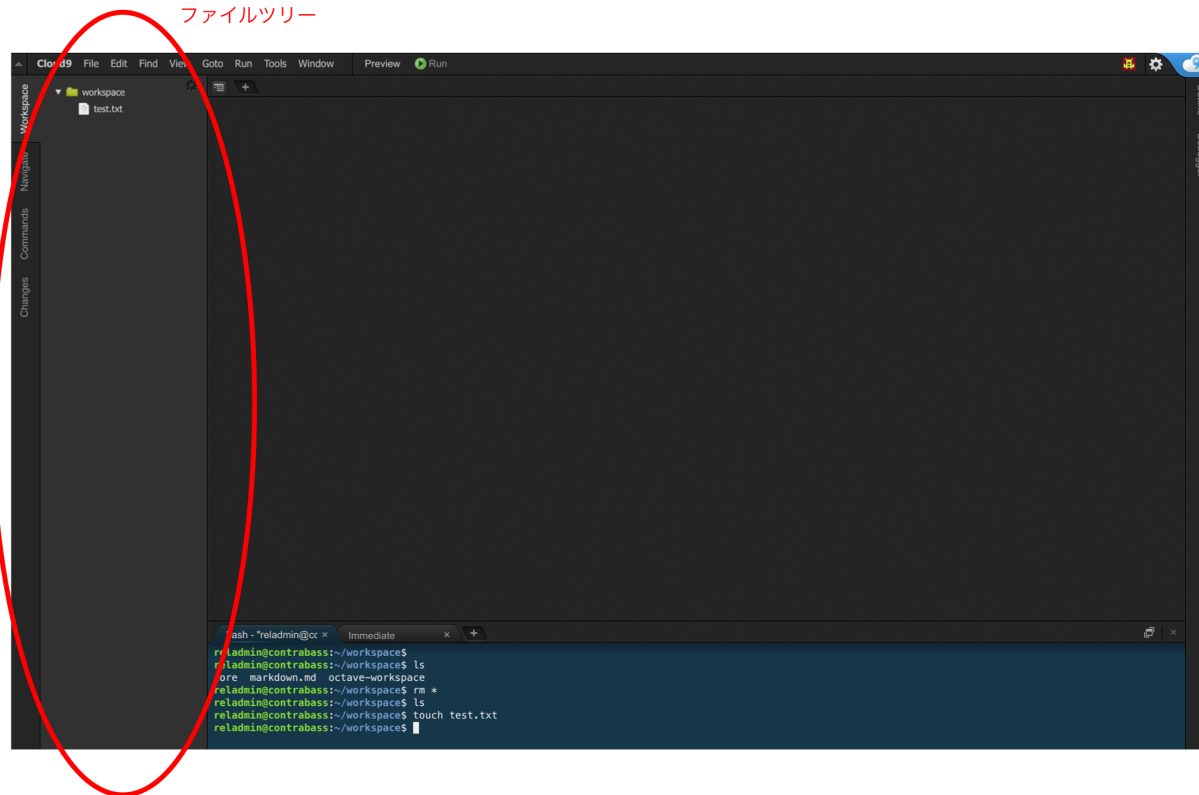
- ユーザ名とパスワードを聞かれるので下記を入力します.
 - ユーザ名：自分の学生番号のBをbに置き換えた文字列（例：b1234567）
 - パスワード：メール or 紙で配付

注意点

- パスワードは変更できないので適切に管理してください
- 地下にある端末を利用しているので、講義の時間中しか利用できません。講義時間以外でも利用したい場合は Docker での利用方法を参照してください。

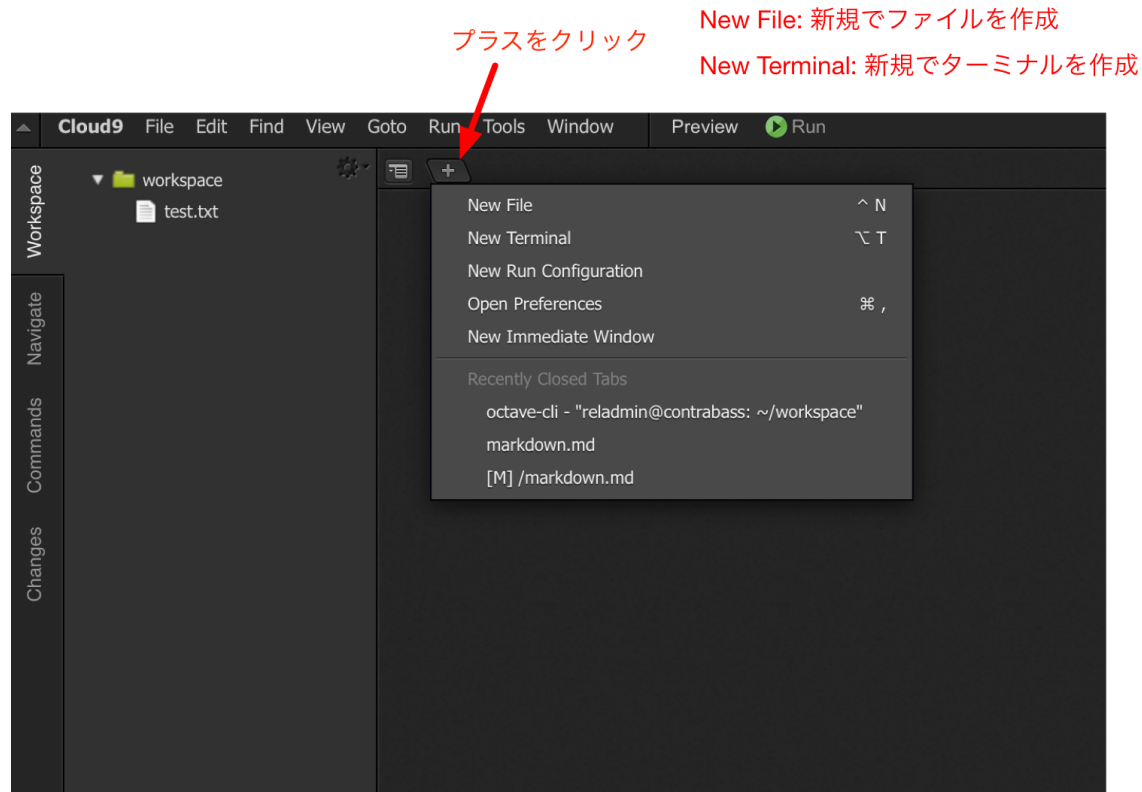
Cloud9の利用

- Cloud9 は Web ブラウザから使います。ファイルの作成, 保存については直感的にできると思います。
- 左にファイルのツリーが表示されています。



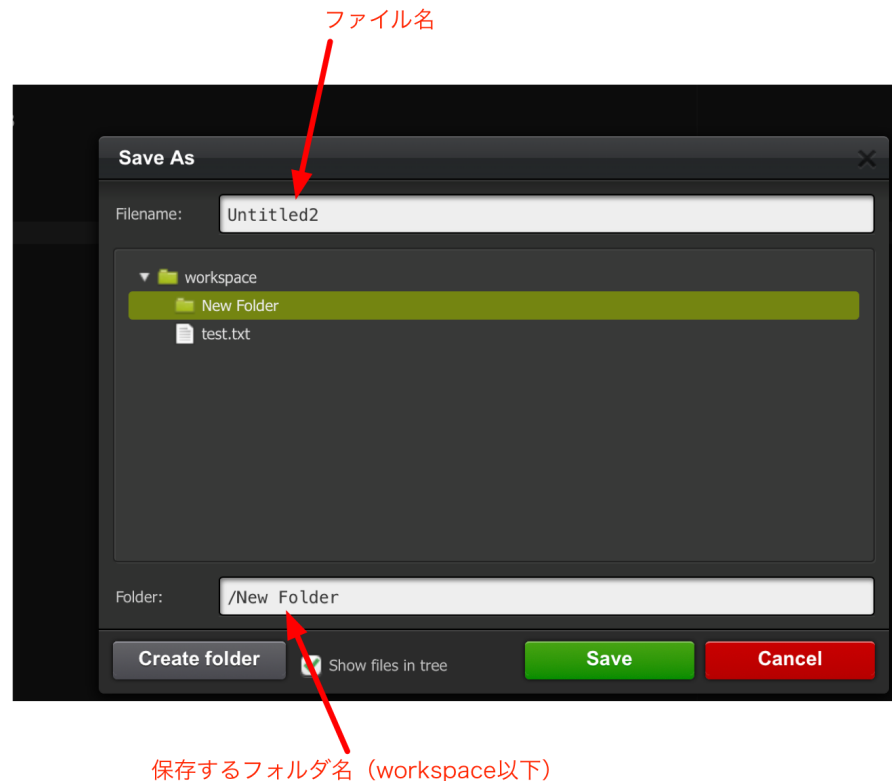
ファイルの作成

- タブのところにある「プラス丸」をクリックするとメニューがでるので [New File] とすると新規ファイルが作れます。



ファイルの保存

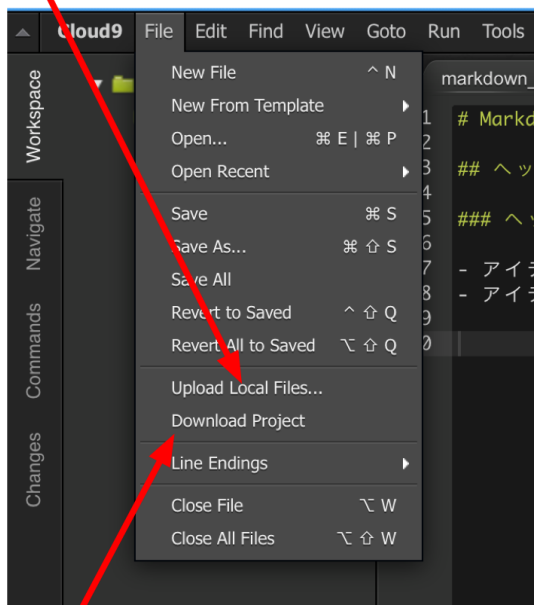
- file メニューから save を選ぶ, またはキーボードショートカットで Ctrl+s (Mac は Cmd+s) すると保存します. 初回は保存するディレクトリを選ぶ画面が出ます.



ファイルのアップロード

- file メニューの「Upload Local Files ...」を選ぶとローカルにあるファイルをサーバ上へアップロードできます.

ローカルにあるファイル（自分のPCにあるファイル）を
アップロードして workspace 以下にコピーする

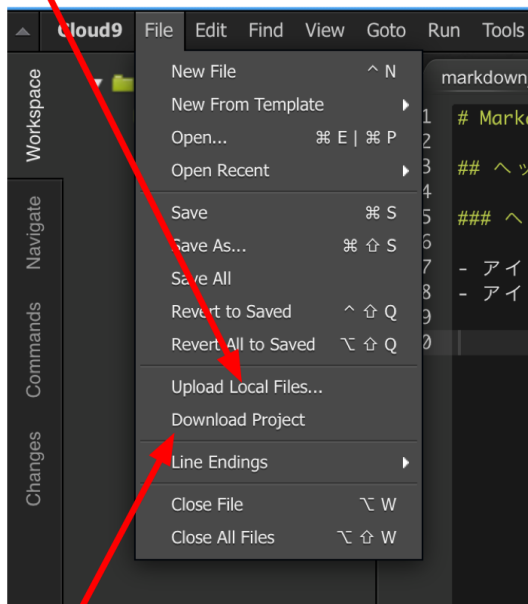


workspace 以下にあるファイルをローカルにダウンロードする

ファイルのダウンロード

- file メニューの「Download Project」を選ぶとサーバ上の workspace 以下のファイルをダウンロードできます.

ローカルにあるファイル（自分のPCにあるファイル）を
アップロードして workspace 以下にコピーする



workspace 以下にあるファイルをローカルにダウンロードする

ターミナルの起動

- タブのところの「プラス丸」から [New Terminal] とすると、Cloud9 が起動しているサーバの「端末（ターミナル）」が使えます。
- SSHなどでログインしているのと同じ状態なので、`cd`, `ls` などのコマンドがすべて使えます。

